

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190100547		
法人名	大和リビング株式会社		
事業所名	グループホームディーフェスタ東与賀		
所在地	佐賀市東与賀町大字飯盛224-2		
自己評価作成日	令和4年2月11日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和4年4月20日	外部評価確定日	令和4年6月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>地域の中で自分らしく家庭に近い環境で安心安全に暮らして頂けるように支援しています。また、利用者様の能力に応じ、日々の家事などを分担しながら自立した生活を目指しています。掲示物の貼り絵や家事などをスタッフと一緒にいき、日常生活がリハビリになり、少しでも認知症の進行を緩やかにすることが出来ています。日々利用者様のアセスメントをして職員間で情報共有をして、過剰介護にならないよう見守り支援に取り組んでいます。毎月、誕生日やイベントを行い、コロナの蔓延防止のため外出イベントを控えているので、少しでも季節を感じて楽しんで頂くような催し物をスタッフ全員で取り組んでいます。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>田園広がる場所にあり、同一敷地内にはデイサービスやケアプランセンター、近隣に住宅型有料老人ホームもある。 庭には桜の木があり、入居者のご家族には結婚式の前撮りに来られた方もいらっしゃるほど春には満開となる。現在、コロナ禍であり、外出支援は出来ないが、月1回季節に応じたイベントの開催や、敷地内の散歩支援はされており、外の空気、季節を感じて頂けるように工夫されている。毎月のお便りは、イベントの様子を中心に写真付きで作成されている。 母体が大きな会社であり、オンラインを取り入れた研修やBCP作成協議をされ、法人内他事業所との連携ができています。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	出勤時、事務所のホワイトボードを確認するのですが、そこに理念を掲示しスタッフに周知してもらっています。その理念に沿ったケアの取り組みを日々心がけるよう努力しています。	出勤時、事務所のホワイトボードを確認するのですが、そこに理念を掲示しスタッフに周知してもらっています。その理念に沿ったケアの取り組みを日々心がけるよう努力しています。	令和2年1月に会社が変わり、同時に理念も変更された。理念を踏まえたプラン作成を行い、職員に周知されている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の回覧板を回してもらい地域の情報を把握出来ているがなかなか外出までは至っていない。毎年夏祭りでは地域の方々と交流があるのですがコロナ蔓延防止により中止しています。	町内の回覧板を回してもらい地域の情報を把握出来ているがなかなか外出までは至っていない。毎年夏祭りでは地域の方々と交流があるのですがコロナ蔓延防止により中止しています。	現在はコロナ禍で、地域との付き合いはほとんどない。コロナ禍以前は、夏祭りにご家族などをお呼びして開催されていたり、折り紙のボランティアの方が訪問されていた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区の自治会長・民生委員・家族様・見学・相談者様に認知症の理解をして頂くために疾患や症状などの情報を提供し理解を深めて頂くよう努めています。	地区の自治会長・民生委員・家族様・見学・相談者様に認知症の理解をして頂くために疾患や症状などの情報を提供し理解を深めて頂くよう努めています。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2カ月に1回開催なのですがコロナ蔓延防止によりほぼ中止になっています。	運営推進会議は2カ月に1回開催なのですがコロナ蔓延防止によりほぼ中止になっています。	コロナ禍では、会議は資料郵送に留まっている。資料には入居者状況や行事報告、その他取り組みや通知事項等が記載されている。会議開催時には委員からの意見もあり、意見をもとに体操などの日課が増えたりもしたが、書面会議となった現在はなかなか意見は出ない。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	コロナ禍以前は地域包括支援センターの担当者の方には、毎回運営推進会議に出席していただいております。意見や評価を受けている。入居状況や毎月の行事報告をし、入居の紹介を受けたりしている。	コロナ禍以前は地域包括支援センターの担当者の方には、毎回運営推進会議に出席していただいております。意見や評価を受けている。入居状況や毎月の行事報告をし、入居の紹介を受けたりしている。	コロナ禍で、市町村との連携もほとんどない。 しかし、コロナが減少してきた先月(3月)に地域包括支援センターから認知症カフェを開催するとのご案内があり、3名の入居者が参加されたとの事。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部での高齢者虐待・身体拘束防止研修会に参加したり、苑内では入社時及び年2回の研修会を実施し、拘束しないケアに取り組んでいる。 入居者の方が自由に苑内を移動できるようにしており、施錠しないケアに努めている。	外部での高齢者虐待・身体拘束防止研修会に参加したり、苑内では入社時及び年2回の研修会を実施し、拘束しないケアに取り組んでいる。 入居者の方が自由に苑内を移動できるようにしており、施錠しないケアに努めている。	現在、身体拘束はしていない。 玄関の施錠は夜間のみ、防犯のために実施。 研修会もあり、職員は拘束の弊害等についても理解されている。 最近では、声かけの方法に特に注意されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	外部での高齢者虐待・身体拘束防止研修会に参加したり、入社時及び年2回の研修会を実施し、拘束しないケアに取り組んでいる。入居者の方が自由に苑内を移動できるようにしており施錠しないケアに努めている。また拘束しないケアの掲示を苑内にし職員が常に意識するようにしている。	外部での高齢者虐待・身体拘束防止研修会に参加したり、入社時及び年2回の研修会を実施し、拘束しないケアに取り組んでいる。入居者の方が自由に苑内を移動できるようにしており施錠しないケアに努めている。また拘束しないケアの掲示を苑内にし職員が常に意識するようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	高齢者虐待防止とともに権利擁護に関する研修会を年2回受けている。	高齢者虐待防止とともに権利擁護に関する研修会を年2回受けている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族様に十分な内容説明を行い、理解・納得していただいた上で、書面にて契約・介助・改正などの手続きを行っている。また改善があった場合も内容を説明し、書面にて承諾をもらっている。	ご家族様に十分な内容説明を行い、理解・納得していただいた上で、書面にて契約・介助・改正などの手続きを行っている。また改善があった場合も内容を説明し、書面にて承諾をもらっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の方々の声はいつでも聴き、運営やケア、ケアプランに反映している。またご家族様の意見・要望は来苑時に聞いたり、介護計画書の説明時にも必ず伺うようにし、運営やケアの改善に努めている。	入居者の方々の声はいつでも聴き、運営やケア、ケアプランに反映している。またご家族様の意見・要望は来苑時に聞いたり、介護計画書の説明時にも必ず伺うようにし、運営やケアの改善に努めている。	コロナ禍になり、ご家族からは面会について、入居者からは外出についての質問や要望がある。面会については、感染状況により対応を変えられており、その都度連絡するようにされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員ミーティングを開催し、定期的な発言の場を設けている。また意見・提案があれば随時出すよう声掛けている。意見・提案には早急に対応、反映するよう取り組んでいる。	職員ミーティングを開催し、定期的な発言の場を設けている。また意見・提案があれば随時出すよう声掛けている。意見・提案には早急に対応、反映するよう取り組んでいる。	職員ミーティングは、毎月全員参加で実施していたが、コロナ禍に入り、少人数で行うようにしていた。しかし、職員の要望があり、感染対策を取って全員で行うように戻されたとの事。また、勤務スタイルなどの要望が出ており、検討されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の貢献度、勤務状況などに関する自己評価・上司評価・上司との面接を随時実施し、評価に応じ賞与・昇給などに反映している。パート職員に対しても年2回、上司評価を実施し昇給に反映している。また勤務や休暇の希望などに対応できるよう体制の整備に努めている。	職員個々の貢献度、勤務状況などに関する自己評価・上司評価・上司との面接を随時実施し、評価に応じ賞与・昇給などに反映している。パート職員に対しても年2回、上司評価を実施し昇給に反映している。また勤務や休暇の希望などに対応できるよう体制の整備に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部の研修会だけでなく、キャリアパス基準に参加してもらっている。	内部の研修会だけでなく、キャリアパス基準に参加してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	以前までは他のグループホームとの勉強会を実施し、年1回の交流研修として1日他のグループホームで勤務し、情報交換の場を作っていたが現在はコロナ禍により中止している。	以前までは他のグループホームとの勉強会を実施し、年1回の交流研修として1日他のグループホームで勤務し、情報交換の場を作っていたが現在はコロナ禍により中止している。		

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人に面会できる機会があれば必ず面会し、ご本人の気持ちを受容し、共感しながら困っていることや不安なことや要望などを聞き日課等継続できることは続けていけるように努めている。	入居前にご本人に面会できる機会があれば必ず面会し、ご本人の気持ちを受容し、共感しながら困っていることや不安なことや要望などを聞き日課等継続できることは続けていけるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人・家族の要望を聞き本人の状況を把握し、必要なサービスについて家族と話し合い同意を得ている。	本人・家族の要望を聞き本人の状況を把握し、必要なサービスについて家族と話し合い同意を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の要望を聞き本人の状況を把握し、必要なサービスについて家族と話し合い同意を得ている。訪問診療や薬剤管理、他のサービス利用についても説明し、希望に応じ対応している。	本人・家族の要望を聞き本人の状況を把握し、必要なサービスについて家族と話し合い同意を得ている。訪問診療や薬剤管理、他のサービス利用についても説明し、希望に応じ対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の得意なこと、出来ることや希望を把握し、同苑者との関係づくりに努め、自発性を引き出してもらえよう協力の声掛けを行っている。各自が役割を持って意欲的に共同生活が過ごせるように取り組んでいる。手伝っていただいたことには感謝の言葉を述べて、共同の関係づくりをしている。	本人の得意なこと、出来ることや希望を把握し、同苑者との関係づくりに努め、自発性を引き出してもらえよう協力の声掛けを行っている。各自が役割を持って意欲的に共同生活が過ごせるように取り組んでいる。手伝っていただいたことには感謝の言葉を述べて、共同の関係づくりをしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在コロナ禍によりガラス越しでの面会をしてもらっている。必ず職員が仲介し本人様や家族様の気持ちを伝えている。	現在コロナ禍によりガラス越しでの面会をもらっている。必ず職員が仲介し本人様や家族様の気持ちを伝えている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	必要物品や差し入れの際に随時スタッフが利用者の方で気になっていることなどを尋ねている。そこでヒントになることなどはケアプランなどに反映したり日常のケアにつなげている。	必要物品や差し入れの際に随時スタッフが利用者の方で気になっていることなどを尋ねている。そこでヒントになることなどはケアプランなどに反映したり日常のケアにつなげている。	現在、面会はガラス越しであれば友人等も含め可能。感染状況によっては、対応変更もある。コロナ禍以前は、行きつけの美容室に行かれたり、近所をドライブしたりなどもされていたが、現在外出は出来ない。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を十分に把握し座る場所や一緒に会話し利用者同士が関わりを深められるように工夫を行っている。また寝たきりの方が増えてきており孤独を感じないよう定時の水分摂取やパット交換以外にも訪室し声掛けを行っている。	利用者同士の関係を十分に把握し座る場所や一緒に会話し利用者同士が関わりを深められるように工夫を行っている。また寝たきりの方が増えてきており孤独を感じないよう定時の水分摂取やパット交換以外にも訪室し声掛けを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療入院患者経過把握と死亡されたケースは、お悔やみや初盆のお花を送っている。また、電話連絡により家族の思いを聞き支援している。	医療入院患者経過把握と死亡されたケースは、お悔やみや初盆のお花を送っている。また、電話連絡により家族の思いを聞き支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族様からの情報やご本人と話をし少しでも希望・要望が把握できる工夫をしている。意思表示のできる方、できない方、各自の希望や思いを受け止められるように話し合いの場で共有し本人本位の実現に向け努力している	ご家族様からの情報やご本人と話をし少しでも希望・要望が把握できる工夫をしている。意思表示のできる方、できない方、各自の希望や思いを受け止められるように話し合いの場で共有し本人本位の実現に向け努力している	ご家族からの情報のほか、直接入居者からも聞き取りをされる。その人によって、開かれた質問・閉ざされた質問を活用し、また、表情を見て把握に努められている。それをもとにケアプランを作成。職員ミーティングで情報共有されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴や一日の過ごし方、生活環境や趣味等行っていたことを教えていただき、ご本人の意向に沿うことが出来るように努めている。全職員が情報を共有しご本人主体の生活が出来よう支援している。	入居前に生活歴や一日の過ごし方、生活環境や趣味等行っていたことを教えていただき、ご本人の意向に沿うことが出来るように努めている。全職員が情報を共有しご本人主体の生活が出来よう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中でできること、出来ないことを見極め、出来ることはしていただき、さらに本人の能力や可能性をみつけ、できることが増えるように職員で情報を共有し支援に努めている。	日々の関わりの中でできること、出来ないことを見極め、出来ることはしていただき、さらに本人の能力や可能性をみつけ、できることが増えるように職員で情報を共有し支援に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者の方の身体的、精神的状況の把握、家族の希望・要望を聞き課題分析し、本人・家族の意向が反映されるように、チームで話し合いながら介護計画を作成している。モニタリングを行い次の計画に生かしている。入院や状態の変化に応じ、その都度計画の見直しを行っている。計画は本人・家族の同意をもらい、全員で共有している。	入居者の方の身体的、精神的状況の把握、家族の希望・要望を聞き課題分析し、本人・家族の意向が反映されるように、チームで話し合いながら介護計画を作成している。モニタリングを行い次の計画に生かしている。入院や状態の変化に応じ、その都度計画の見直しを行っている。計画は本人・家族の同意をもらい、全員で共有している。	ケアプランは概ね6か月ごとに更新されている。現在、ご家族には電話や面会時に聞き取りや報告が行われている。計画作成担当者、管理者、看護師、担当介護職員は必ず担当者会議に参加され、現状に即した内容になるように検討されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各自のバイタル・食事・水分量・排泄・運動レクリエーションや体調の変化等、日々の様子を毎日Ipadに入力し変化や気づきを職員間で共有できるようにしている。改善すべき点や本人の状況に応じ介護計画の見直しをしている。	各自のバイタル・食事・水分量・排泄・運動レクリエーションや体調の変化等、日々の様子を毎日Ipadに入力し変化や気づきを職員間で共有できるようにしている。改善すべき点や本人の状況に応じ介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活の中で利用者のニーズを聞きだし柔軟に対応できるように努めている。	日々の生活の中で利用者のニーズを聞きだし柔軟に対応できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナが終息すれば地域の中学校、小学校の生徒を受け入れ、関わりをもってもらい、いつもと違う雰囲気を楽しんでほしい	コロナが終息すれば地域の中学校、小学校の生徒を受け入れ、関わりをもってもらい、いつもと違う雰囲気を楽しんでほしい		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族との話し合いを行い、本人にとって適切な医療が受けられるように支援している。かかりつけ医の定期的な訪問診療を受けたり、緊急時や体調の変化に応じその都度受診や相談・助言を受けている。本人の状態に応じ、専門医等の受診・訪問診療を家族と相談しながら行っている。	家族との話し合いを行い、本人にとって適切な医療が受けられるように支援している。かかりつけ医の定期的な訪問診療を受けたり、緊急時や体調の変化に応じその都度受診や相談・助言を受けている。本人の状態に応じ、専門医等の受診・訪問診療を家族と相談しながら行っている。	現在は、グループホームの協力医療機関が入居者全員が主治医となっており、定期的な往診を受けられている。しかし、入居前のかかりつけ医の継続も可能。往診以外の受診はご家族が対応されている。往診や受診時には、看護師が医師やご家族に状況報告をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化に対し、看護師に報告、連絡相談を行い指示を受けたり、直接対応してもらっている。症状に応じ、かかりつけ医への相談・調整等もしてもらっている。看護師による健康チェックを毎週1回してもらっている。	体調の変化に対し、看護師に報告、連絡相談を行い指示を受けたり、直接対応してもらっている。症状に応じ、かかりつけ医への相談・調整等ももらっている。看護師による健康チェックを毎週1回してもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は情報提供をし、現在病院側も面会謝絶のため電話連絡し、その方の状態を逐一確認している。	入院時は情報提供をし、現在病院側も面会謝絶のため電話連絡し、その方の状態を逐一確認している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にターミナルの指針についても文章をもちいて家族に説明している。また、入居者の方が重度化されたときには家族と話し合い、意向や希望を確認しながら医療機関との連携をとり、チームで支援するよう取り組んでいる。	入居時にターミナルの指針についても文章をもちいて家族に説明している。また、入居者の方が重度化されたときには家族と話し合い、意向や希望を確認しながら医療機関との連携をとり、チームで支援するよう取り組んでいる。	終末期の状態変化、対応の変化等は、口頭や申し送りノートを活用し、職員の共有を図られている。現管理者になり、これまで4名程度の看取りがあった。状態によってはご家族の泊まり込みも可能。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎年、消防署主催の救命救急講習を受講している。また、急変時や事故発生などの連絡体制を掲示し勉強会も実施している。	毎年、消防署主催の救命救急講習を受講している。また、急変時や事故発生などの連絡体制を掲示し勉強会も実施している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回夜間を想定した避難訓練を実施し通報訓練、消火訓練、緊急連絡先の確認を行い、自治会や家族の方にも参加を呼びかけ、評価や提案、指導を受け改善に取り組んでいる。またBCPIについても会社全体で作成しておりWebミーティングにて意見交換している。	年2回夜間を想定した避難訓練を実施し通報訓練、消火訓練、緊急連絡先の確認を行い、自治会や家族の方にも参加を呼びかけ、評価や提案、指導を受け改善に取り組んでいる。またBCPIについても会社全体で作成しておりWebミーティングにて意見交換している。	避難訓練では、コロナ禍になり、消防は参加できない状況である。コロナ禍以前は、近隣の方も見守り役として参加された事もある。災害BCPIについても作成されている。冠水区域ではない。備蓄は3日分はある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重やプライバシー保護、ハラスメント研修を行っており入居者の一人一人にあった対応に心がけ、人格を損ねないようケアを行っている。	人格の尊重やプライバシー保護、ハラスメント研修を行っており入居者の一人一人にあった対応に心がけ、人格を損ねないようケアを行っている。	研修では、人権やジェンダーなどの内容があり、パート職員や派遣職員も参加している。現在はWeb研修となっている。不適切なケアがあった際は、管理者が個別に指導されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の各場面において、本人が選択できるような言葉掛けに努めており、衣類を選んでもらったり、歌やレクリエーションの内容を決めてもらったりと自由に希望を言ってもらえるよう配慮している。	日常生活の各場面において、本人が選択できるような言葉掛けに努めており、衣類を選んでもらったり、歌やレクリエーションの内容を決めてもらったりと自由に希望を言ってもらえるよう配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本の一日の流れはあるものの、ホールや自室、またソファで休息等、個々の希望に沿った生活の支援をしている。	基本の一日の流れはあるものの、ホールや自室、またソファで休息等、個々の希望に沿った生活の支援をしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	コロナ禍以前は2カ月に1度、美容室の方に散髪に来苑して頂いていたが、現在は毎週火曜日に何名かを職員がその方に合った髪型にさせてもらっている。本人の希望を聞き、洋服選びや髭剃り・爪切り等の支援を行っている。	コロナ禍以前は2カ月に1度、美容室の方に散髪に来苑して頂いていたが、現在は毎週火曜日に何名かを職員がその方に合った髪型にさせてもらっている。本人の希望を聞き、洋服選びや髭剃り・爪切り等の支援を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は入居者・職員が同じテーブルを囲み、家族のような雰囲気づくをして楽しんで食事が出来ている。個々の力を把握し、片付けや準備を行っている。	食事は入居者・職員が同じテーブルを囲み、家族のような雰囲気づくをして楽しんで食事が出来ている。個々の力を把握し、片付けや準備を行っている。	同一敷地内の厨房で作成された食事をホームで配膳して提供されている。その人の状態によっては、ホームで刻んだりミキサーにかけたりして対応。行事食や季節に応じたメニューもある。入居者はテーブル拭きなど出来ることをされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分量と摂取量を把握できるように記録している。粥食やミキサー食・キザミ食等個々に応じた食事を用意している。出来るだけ自分で食べられるように声掛けをしたり一部介助を行い、必要量の確保はできるよう支援している。	一日の水分量と摂取量を把握できるように記録している。粥食やミキサー食・キザミ食等個々に応じた食事を用意している。出来るだけ自分で食べられるように声掛けをしたり一部介助を行い、必要量の確保はできるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人に口腔ケアを呼び掛けている。夜間は義歯を預かり義歯洗浄剤にて洗浄している。口腔ケアの出来る方には自分でしてもらい必要に応じ介助、舌磨きの支援もしている。また訪問歯科診療で個別のケアの指導を受けている。	毎食後、一人一人に口腔ケアを呼び掛けている。夜間は義歯を預かり義歯洗浄剤にて洗浄している。口腔ケアの出来る方には自分でしてもらい必要に応じ介助、舌磨きの支援もしている。また訪問歯科診療で個別のケアの指導を受けている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄状況を記録し、排尿間隔をみて声かけや誘導を行い、可能な限りトイレでの排泄を支援し失禁を減らしたり、訴えができない方の様子をみてトイレ誘導し、自立に向けての取り組みを行っている。	一人一人の排泄状況を記録し、排尿間隔をみて声かけや誘導を行い、可能な限りトイレでの排泄を支援し失禁を減らしたり、訴えができない方の様子をみてトイレ誘導し、自立に向けての取り組みを行っている。	個々に合わせた排泄援助を行い、排泄動作の維持ができるよう努められている。 居室にトイレはないが、入居者によってはポータブルトイレを使用して頂き、オムツにならないように配慮されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防に水分摂取や体操などに取り組んでもらっている。排便状態を記録し看護師へ相談、助言を受けている。またその方に合った下剤調整を誰もが分かる場所に貼り、職員全員で共有している。	便秘予防に水分摂取や体操などに取り組んでもらっている。排便状態を記録し看護師へ相談、助言を受けている。またその方に合った下剤調整を誰もが分かる場所に貼り、職員全員で共有している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本、3日に1回の入浴または清拭施行している。曜日や時間帯はある程度決まっているがその方々に応じて対応している。入浴を嫌がられる方には時間を空け、再度声掛けしている。希望によりシャワー浴、清拭対応している。	基本、3日に1回の入浴または清拭施行している。曜日や時間帯はある程度決まっているがその方々に応じて対応している。入浴を嫌がられる方には時間を空け、再度声掛けしている。希望によりシャワー浴、清拭対応している。	入浴剤を使用し、保温・保湿や気分転換となっている。 「毎日入浴したい」「同性介助がいい」等の希望があれば、出来る範囲で対応に努めるとの事。基本はマンツーマンでの対応だが、状態によっては、苦痛の無いように2名介助や清拭にて対応される。 入浴拒否の強い方は、ご家族同意のもと無理強いはしていない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各部屋に室温・湿度計を設置し、濡れタオルなどを干すなどして乾燥に注意している。暖房器具、照明、寝具の清潔にも気を配り、寝具類は週1回また汚れた際はその都度交換している。昼間でも希望があれば自室にて休んで頂いたり就寝時間も決まっておらず、安心して眠れるよう取り組んでいる。	各部屋に室温・湿度計を設置し、濡れタオルなどを干すなどして乾燥に注意している。暖房器具、照明、寝具の清潔にも気を配り、寝具類は週1回また汚れた際はその都度交換している。昼間でも希望があれば自室にて休んで頂いたり就寝時間も決まっておらず、安心して眠れるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示により看護師の管理のもと、一人一人の薬の内容や用法・容量について職員が理解し確実な服薬、状態の変化の観察に努めている。月2回薬剤師による薬のセットと訪問指導を実施している。また誤薬事故が起きないように服薬箱から出す際、職員に見せる、本人に確認の3度チェックをして服薬してもらっている。	医師の指示により看護師の管理のもと、一人一人の薬の内容や用法・容量について職員が理解し確実な服薬、状態の変化の観察に努めている。月2回薬剤師による薬のセットと訪問指導を実施している。また誤薬事故が起きないように服薬箱から出す際、職員に見せる、本人に確認の3度チェックをして服薬してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に生活歴や興味のあることの情報を収集し、生活の中から役割や楽しみを見つけることが出来るように支援し、張り合いのある生活が出来るよう取り組んでいる。	入居時に生活歴や興味のあることの情報を収集し、生活の中から役割や楽しみを見つけることが出来るように支援し、張り合いのある生活が出来るよう取り組んでいる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	戸外に行きたいと希望がある時はなるべく意向に沿うように支援している。本館の売店に行ったり苑内を散歩したり、また棟の外に桜の木があるので満開の際は外で皆さんと食事を楽しんでもらっている。	戸外に行きたいと希望がある時はなるべく意向に沿うように支援している。本館の売店に行ったり苑内を散歩したり、また棟の外に桜の木があるので満開の際は外で皆さんと食事を楽しんでもらっている。	現在は、新型コロナウイルス感染防止対策として外出支援はされていない。しかし、少人数での敷地内の散歩はされている。外出が出来ない分、現在は誕生会とは別に月1回のイベントを行い、敬老会や運動会、おやつ作り(フルーチェやおはぎ等)などを実施されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の所持は原則として行っていない。買い物支援等必要時は、ご家族様に了解していただき立て替え、後日請求している。	金銭の所持は原則として行っていない。買い物支援等必要時は、ご家族様に了解していただき立て替え、後日請求している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人へ年賀状等を出されるか確認し、出される場合は宛名などご家族様に協力していただき発送している。また本人さんが希望された時や電話がかかってきた時は何時でも繋げる体制をとっている。	ご本人へ年賀状等を出されるか確認し、出される場合は宛名などご家族様に協力していただき発送している。また本人さんが希望された時や電話がかかってきた時は何時でも繋げる体制をとっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、居間、台所、トイレは動きやすい動線になっており、障害にならないようテーブルを配置している。明るさ、温度、臭気、清掃等の環境も整備しており季節感を感じることが出来るよう貼り絵や飾り物を取り入れ工夫している。	玄関、廊下、居間、台所、トイレは動きやすい動線になっており、障害にならないようテーブルを配置している。明るさ、温度、臭気、清掃等の環境も整備しており季節感を感じることが出来るよう貼り絵や飾り物を取り入れ工夫している。	貼り絵などの飾り物は、職員と入居者が一緒に作成されている。リビングでは、入居者の状況に合わせて席を決められている。毎日職員が清掃・消毒をしているとの事。玄関先のプランターには花を植えられ、外に洗濯ものを干されており、何気ない日常風景がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはテーブルとソファを2か所設置しており、入居者の方が好きな場所を選んで過ごせるように配慮している。	共有空間にはテーブルとソファを2か所設置しており、入居者の方が好きな場所を選んで過ごせるように配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様に入居前に可能な限り使い慣れたものや馴染の物など持ってきていただくよう声掛けており、写真やお気に入りの品、思い出の品等安心出来る居室作りに努めている。	ご家族様に入居前に可能な限り使い慣れたものや馴染の物など持ってきていただくよう声掛けており、写真やお気に入りの品、思い出の品等安心出来る居室作りに努めている。	居室は、1室12.37㎡の広さがあり、クローゼット、ベッド、洗面台、面会者用の椅子が備え付けられている。清掃は職員が行い、本人が快適で安全に過ごせるような配置を検討されている。家で使用されていたタンスや、馴染みの人形、家系図などの持ち込みもある。本人直筆の書道を掲示されている方もいる。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	苑内はバリアフリーで各所に手すりも設置されている。自室やトイレは分かりやすく表示している。ホールにはカレンダーや時計を見やすい位置に設置し、声を掛け可能な限り自立した生活ができるように工夫している。	苑内はバリアフリーで各所に手すりも設置されている。自室やトイレは分かりやすく表示している。ホールにはカレンダーや時計を見やすい位置に設置し、声を掛け可能な限り自立した生活ができるように工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)			1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
		○	○	3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○		3. 利用者の1/3くらいが
			○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない